

令和8年度 第2回海老名市子ども・子育て会議 次第

日 時：令和8年8月4日（火）午前10時から

場 所：えびなこどもセンター 健診室

1 開 会

2 報 告

- ・こども誰でも通園制度の実施園の変更予定について

3 議 題

- ・こども・若者に関する調査審議（委員による意見交換）

4 閉 会

こども・若者に関する調査審議（委員による意見交換）

1 ワークショップの会議内容としての位置づけ

子ども・子育て会議の処理事項は、子ども・子育て支援法により以下のとおり定められている。子ども・子育て支援法第72条第1項第5号において「市町村における子ども・子育て支援施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項及び当該施策の実施状況を調査審議すること」とされており、この「調査審議」の手法に、委員同士の意見交換、ワークショップも含まれると解釈する。

なお、ワークショップで得られた意見などは、参考意見として関係各課に情報提供を行うに留め、提言としての位置づけにはしないこととする。

テーマ

テーマ「こどもを支える人を支えるために大切なこと」

1. グループ分け

（1）11名の委員を3グループに分ける

【グループA案】 4名

中尾委員長、酒寄委員、山口委員、下澤委員

【グループB案】 4名

奥泉副委員長、米山委員、里村委員、花岡委員

【グループC案】 3名

水上委員、富樫委員、樋口委員

（2）グループの委員の中で、ファシリテーターを決める

話し合いの進行、取りまとめ役となるファシリテーターを選出する。同じ委員の中から出した方が、話しやすく意見を出しやすい。ファシリテーターへは事前に打診。

こども育成課長は全体の司会・進行、事務局3名は書記として各グループに1人配置、次長はフリー。

【グループA案】ファシリテーター：中尾委員長

【グループB案】ファシリテーター：奥泉副委員長

【グループC案】ファシリテーター：富樫委員

2. 手順等

(1) ワークショップの流れ（全体で1時間半程度）

① はじめに 自己紹介・エピソード共有【10分】

- ・グループ内で自己紹介を行う
- ・こどもに関するエピソードを1人2分程度で共有する

② 現状整理 付箋記入・カテゴリー分け【20分】

- ・ ピンクの付箋 → 大変なこと・困っていること
- ・ 黄色の付箋 → 自分が支えてほしいこと
- ・ それぞれ3つ程度記入する【5分】
- ・ グループ内で発表・共有しながらA3サイズの用紙に貼り付ける
- ・ 保護者・保育者・その他などの立場ごとにカテゴリー分けする【15分】

③ 本題 支えてほしい仕組み・提案の発散【30分】

- ・ 緑の付箋に記入する
- ・ ① 自分が支えてほしいこと→こんな仕組みがあれば・こんな情報があればなど自由に発散
- ・ ② 自分以外へのこんな支えがあったらよいかもという提案
- ・ 個人記入後、グループ内で共有する

④ まとめ グループ内で整理【15分】

- ・ 「こどもを支える人を支えるために本当に必要なもの」という視点で絞り込む
- ・ A1サイズの紙にまとめる

⑤ 発表 グループ発表【15分（各グループ5分程度）】

- ・ 各グループの代表が発表する

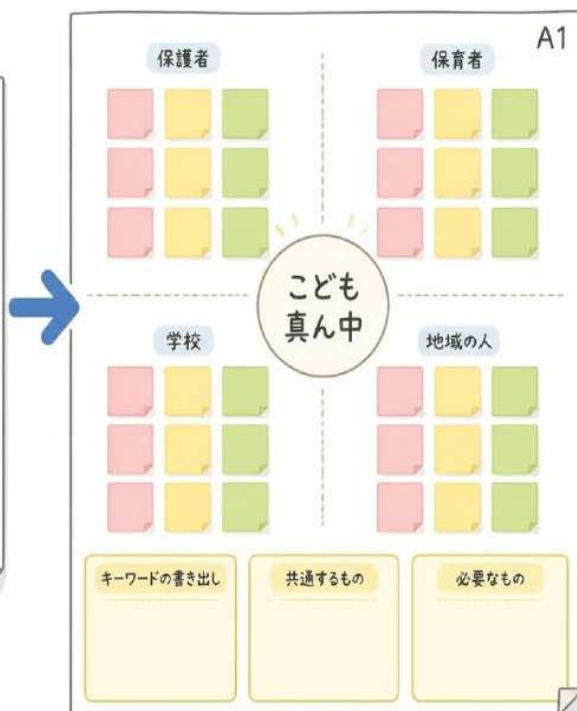
⑥ 委員長の総括

⑦ 事務局のまとめ【⑥・⑦合わせて5分程度】

整理用紙イメージ図(A3 サイズ)



模造紙イメージ図(A1 サイズ)



(2) 席次案 (健診室)

